

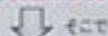
災害時における安否確認方法の一考察 A Study on Safety Confirmation Method in Disaster Situation

5EC05 氏名 岩崎 健治
電子通信研究室 指導教員 吉野 純一 准教授

災害時の安否確認についてのアンケート 集計結果発表

なぜ？

近年、さまざまな災害が多発している。



そこで

災害時に人々の動向と安否確認に対する考え方を知る必要がある。
よって、今回は「アンケート」により調査し確認する。

調査条件

アンケート実施日 2007年6月23日(土)父母懇談会にて
被験者 サレジオ高専父母
サンプル数 123人

主な質問

- ・あなたの年齢を選んでください。
- ・あなたの職業は何ですか。
- ・あなたの自宅はどこですか。
- ・我が子の通学手段は何ですか。
- ・自宅からサレジオ高専までの通学時間はどのくらいですか。
- ・もし災害が起きた場合、どのような行動をとりますか。
- ・通学時に災害が起きた場合、我が子の安否を確認する方法が何がありますか。
また、安否を確認する方法は何ですか。

クラス	人数(人)
1A	69
1C	12
2A	18
3C	18
4C	9
5C	9
合計	123

アンケート結果

1. 災害時は安全確保が優先された。(図1(a)参照)
2. 災害時は安否確認が次に重要な要素となった。(図1(b)参照)
3. 安否を確認する方法として携帯電話が6~7割を占めている。(図2参照)

